

## 関連情報

### ① 富良野へのアクセス（レンタカーを使わない前提です）

最寄りの空港は旭川空港。東京/旭川の直行便はANA/JAL/AIR DO など1日8便（運賃はJetstar/成田発着が圧倒的に安い。ただし預け荷物は有料なので、ヤマト宅急便で宿まで送るのもひとつ）



旭川空港からはバス（ラベンダー号）で美瑛、富良野方面へ（美瑛駅16分、富良野駅約1時間）（注）

なお、札幌から富良野駅まで高速バスで2時間40分、帯広からはJR、バス乗継もしくは直通バスで富良野駅まで2時間半前後。帯広は豚井で有名ですが、周辺には素敵なガーデンが点在していますので、ラベンダー畑とともに帯広～富良野～旭川のガーデン巡りもよろしいかと。 <https://www.hokkaido-garden.jp/>

（注）フライトと接続していないためフライトによってはバスの待ち時間が長い。美瑛駅まではタクシーで4,000円程度

### ② 富良野ラベンダーの歴史

1947年に現在のニセコ町の農家がはじめて作物としてのラベンダーを導入、その2年後には上富良野町で本格的に栽培が開始。その後北海道庁による奨励作物の指定もあり、1960年には栽培農家が全道で600戸近くまで増加しました。製造されたエッセンシャルオイルは品質もよく、1970年には栽培面積、生産量ともに栽培史上最大を記録、将来を期待されたらラベンダー栽培ですが、その5年後1975年、栽培農家数は激減、栽培農地はほぼ消滅しました。突然消滅した理由はそれまで買上保証をしていた曾田香料社がオイルの蒸留、ラベンダーの買上を停止したため。その理由は香料貿易の自由化、有機化学の発展による人工香料の飛躍的発展、経営陣の刷新（東レ、三井物産が曾田香料の全株式取得）による経営方針の見直しでした。

そのため、主生産地であった富良野エリアにおいてもピーク時250戸あった生産農家はすべて撤退、「ファーム富田」を残すのみとなりました。オーナーの富田忠雄は稲作で生計を立てつつ、ラベンダー栽培の新たな活路を模索していたようです。その転機になったのは1975年の国鉄カレンダーです。

このカレンダーが契機となり、カメラを片手にした観光客が多数「ファーム富田」を訪れ、ドラマ「北の国から」（1981年10月放映開始）の大ヒットも相まって富良野が全国的な観光地に。なお、カレンダーの撮影者は前田真三氏。同氏は長年にわたり美瑛の丘を撮り続け、美瑛を世に知らしめた写真家です。美瑛町に同氏ゆかりのギャラリー（拓真館）がありますので、美瑛に行かれた際にはぜひお立ち寄りください。

### ③ ラベンダーの種類と見ごろ

ラベンダーで人気を集めるフランス・プロヴァンス地方は原種系であるフレンチ・ラベンダーですが、富良野のラベンダーはそれとは違うイングリッシュ・ラベンダーです。多くは6月下旬から開花が始まり、7月上旬～中旬が見頃の早咲きと（通称、濃いむらさき）、7月上旬に開花して中旬から下旬に見頃を迎える遅咲き（通称、おかむらさき）に分かれ、富良野では遅咲きが70%を占めています。

したがって、見頃は早咲きと遅咲きが重なり合う、7月中下旬が見頃ということになりますが、温暖化により近年開花が早まっており、昨年、今年ともに見頃のピークは7/10～7/15でした。

なお、ラベンダーは花が終わると花がらが落下し、畑もくすんで見えるようになりますので、見頃の時期でも早めに、もしくは満開直前がお勧めです。自由に時間がとれる方は開花状況を確認しつつ、旅の計画を練るのがよいでしょう。

<ラベンダーの開花情報>

<https://mile-traveler.net/furano-lavender-14170>

<上富良野町版です。画面の下の方に他地域の開花情報あり>

[https://www.kamifurano.jp/nature/lav\\_besttime/](https://www.kamifurano.jp/nature/lav_besttime/)



#### ④ レンタサイクルについて

\*JR 富良野線各駅周辺にレンタサイクル店があります。通常は朝 8 時～9 時開店ですが、上富良野の長沼物産などは頼めば 7 時に開けてくれます。以下、筆者おすすめのレンタサイクル店。

美瑛駅 松浦商店 TEL 0166-92-1415 (美瑛駅周辺にほかに数店舗あり)

美馬牛駅 ガイドの山小屋 TEL 0166-95-2277 <http://www.yamagoya.jp/>

上富良野駅 長沼物産 TEL 0167-45-2417

中富良野駅 立野サイクル TEL 0167-44-2777

富良野駅 サイクル長江 TEL 0167-22-2859

南富良野町 サイクステーション南富良野 (道の駅南ふらの内) TEL0167-39-7000 <https://www.minamifurano.jp/lp/>



\*料金 一般的に 1 時間 600 円、1 日 3,000 円 (富良野駅は少し安い)

\*最大走行距離 50～60km (平地ベース) 山坂あれば 30～40km に落ちる

搭載バッテリーによりキャパが異なるので、店内にある最強自転車を借りること

- ・バッテリー表示がゼロになっても 10km 程度走るものと、ゼロは完全にゼロの車種があるので要確認
- ・バッテリー切れは悲惨なので残量に余裕を持つこと。(電波の届かない場所では自転車店と連絡が取れない)
- ・バッテリー残量が不安になった場合はいったん店に戻って交換すること。

通常、ギア 3 段 (パワー、オート、エコ)、「パワー」はバッテリーが急速に減るため、通常は避けたほうがよい。ただし、バッテリーにかなり余裕がある場合は「パワー」を積極的に使いましょう。

\*グーグルマップなど自転車ナビで表示される目的地までの所要時間は時速 14km で計算されており、信号待ち、上り坂は考慮されていません、上りがある場合はナビ表示時間の 20～30%増して考えておくこと。

\*ナビは必ずしも正確ではなく指示道路が狭い砂利道であることも。砂利道は自転車走行に不適。多少遠回りでも舗装道路を。

\*ヘルメットの着用努力義務があります。身の安全のために必ず着用しましょう。(多くは店で借りられる)

\*美瑛～富良野を走る国道 237 号線、美瑛から「青い池」方面に向かう道道 966 号線は一部に路肩がなく、大型トラックが頻繁に走っているため、自転車通行は危険です。なお、美瑛駅から「青い池」方面には美瑛川に沿って快適なサイクリング道路あり。

#### ⑤ 宿泊施設

私は美馬牛駅徒歩 5 分の民宿を常宿にしており、たまに美瑛駅周辺のホテルを使う程度ですから他の宿泊施設は詳しくないです。

まあ、富裕層はビブレ (オーベルジェ、美瑛) もしくはフラノ寶亭留、新富良野プリンスホテル (ともに富良野市) へどうぞ。

美瑛～富良野にかけて民宿、ペンション多数。ただし、駅遠、バス・トイレ共用も少なくないことから、とりあえずは旭川駅周辺のホテルにお泊りになるのが無難かも。旭川～美瑛は JR 富良野線で 34 分。中富良野までは 1 時間強。また、旭川にはラーメン店が多く (市内 150 店舗)、札幌・味噌ラーメン、函館・塩ラーメンと並び称される旭川・醤油ラーメンを堪能できます。雨天の日は駅前イオンで映画を見て、昼は旭川ラーメン、夜はジンギスカン鍋というのも旅のよい思い出になることでしょう。

<宿>

美馬牛駅 徒歩 5 分「おかせん里」(民宿、2 食付き 6,600 円 2024 年 10 月現在、バス・トイレ共用、

木曜日は夕食の提供なし)

<https://okasenri.o-oku.jp/>

美瑛駅 徒歩 5 分「フォテージイン美瑛」

<https://inn-biei.jp/>

美瑛駅 徒歩 2 分「ホテル ラヴニール」

<http://www.biei-lavenir.com/>



ラベンダー畑駅



冬の美瑛駅前



美馬牛駅



上富良野駅



<旭川>



旭川（後方は大雪山山系、旭川市役所提供）



旭川ラーメン



大雪地ビール館

\*\*\*\*\*

<美瑛、富良野 四季折々>



エゾエンゴサク



カタクリ

